

令和4年度指導教諭による「授業力アップ講座」③④

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講義、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、中学校の2つの授業力アップ講座を紹介します。

9月29日(木) 一関市立千厩中学校
英語 北村 良子 先生

講義：「英語力の向上を目指す効果的な ICT の活用」

北村先生の講義から学ぶ英語の授業のポイント！

- 音読やドリルを自主的に繰り返し学習すること。(リトライ)
- 動画や Power Point を活用し、学習内容や重要項目を簡潔に提示することで生徒の記憶に残りやすくすること。

1 音読練習の実践例

- ① 個人練習 [デジタル教科書で音読練習]
- ② ペアで練習 [ペアで役割を決め、対話練習]
- ③ 録音 [一人で全文を読み、録音して提出]

・音読が棒読みにならないように、ジェスチャーをつけながら話すようにする。

2 ノートの活用例

ICTも活用しているが、授業で学んだことを復習できるようにノートと併用している。宿題で書いてきた本文に、直接書き込むことができる利点がある。



3 タブレット実践例

- ① 言語活動での活用 [ロイロノート (クイズ)]
- ② 確認テストでの活用 [e ライブラリー (ドリル)]
- ③ 内容理解での活用 [ロイロノート (テスト)]
- ④ 発音練習での活用 [デジタル教科書・ロイロノート]
- ⑤ 授業での活用 [大型モニター (Power Point)]

ロイロノートを活用して音読を提出させ、それに対して、教師が評価をしてコメントを返すこともできる。パワーポイントを作成するには時間がかかるが、自分の指導がぶれなくなる。



10月7日(金) 奥州市立東水沢中学校 第3学年
理科 及川 由美 先生

授業：「4 地球と宇宙」

及川先生の授業から学ぶ理科の授業のポイント！

- 時間的・空間的な視点を与えるためのモデルの工夫すること。
- 身近な自然現象から課題を見つけ、学んだ事が身近な自然現象に返るとい意味を感じることでできる進め方。

1 授業参観

家庭で行った月の観察記録から、月の満ち欠けと動きについての課題を見だし、今後の月の動きと見え方について考える授業でした。最初に事象を確認し、それをモデル教材や板書を利用してどのような現象が起きているのかにつなげました。その際には宇宙からの視点を生徒に与えるために、工夫されたモデルを準備し、生徒に時間的・空間的な視点を与え、理科の見方・考え方を十分に活かすことができる手立てが見られました。



2 協議

実際の観測結果を基に、月の満ち欠けに関する規則性を想起させたうえで、既習事項から予想を立て、課題解決に取り組んでおり見通しがもっていたこと、学んだことが身近な自然現象に戻っていくという、理科を学ぶ意義や有用性を感じることでできる授業展開だったことが話題にありました。また、必要な教材や板書等、生徒が課題解決に必要な



なものを適切な時期に提示していました。特に、月の満ち欠けを自分の目で確認できる教材は、自分でも作ってみたいという感想があがりました。

参加者の声 (一部抜粋)

- ・タブレットやノートの使い分け、デジタル教科書の活用方法など、英語教育とICTの関連性やこの先の可能性を感じることができました。
- ・生徒がタブレットを使って音読したものを教師に提出させ、評価につなげたいと思いました。北村先生の念入りの準備、生徒の興味を引くアニメーション付きのパワーポイントが素晴らしかったです。

参加者の声 (一部抜粋)

- ・授業の中に、生徒自身が考えられるような手立てを多く組み込んだ授業づくりをしなければいけないと改めて考えました。
- ・生徒の興味や関心を引き出すことができる教材開発や教材研究をしていきたいと思いました。
- ・及川先生の豊富な教材準備、生徒の言葉をつないで丁寧に進める授業が参考になりました。